

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【高浜地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯 【高浜地域】331世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【高浜地域】149世帯
 回収率：【市全体】48.2% 【高浜地域】45.0%

2. 集計結果(高浜地域分)

(1) 回答者の属性

問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、家族構成は一世帯世帯、二世帯世帯がそれぞれ30%以上を占めています。

ア：性別

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	92	61.7%
女	814	25.4%	40	26.8%
無回答	214	6.7%	17	11.4%
計	3,200	100.0%	149	100.0%

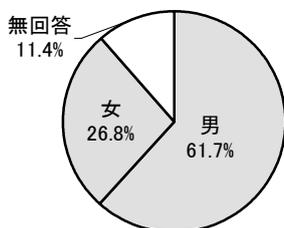
イ：年齢

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	1	0.7%
30歳代	218	6.8%	10	6.7%
40歳代	393	12.3%	22	14.8%
50歳代	572	17.9%	20	13.4%
60歳代	875	27.3%	41	27.5%
70歳代以上	1,050	32.8%	55	36.9%
無回答	40	1.3%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	149	100.0%

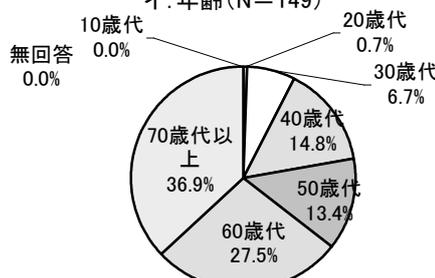
ウ：現在の家族構成

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	23	15.4%
一世帯世帯	786	24.6%	45	30.2%
二世帯世帯	1,142	35.7%	52	34.9%
三世帯世帯	425	13.3%	19	12.8%
その他の世帯	194	6.1%	8	5.4%
無回答	61	1.9%	2	1.3%
計	3,200	100.0%	149	100.0%

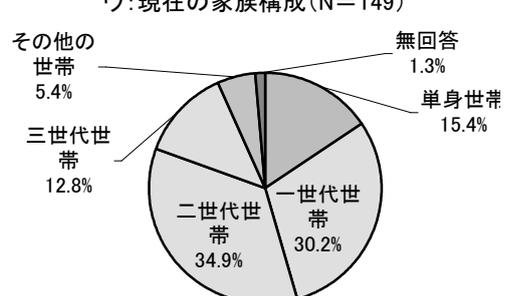
ア：性別(N=149)



イ：年齢(N=149)



ウ：現在の家族構成(N=149)



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」が最も高く、次いで「民間賃貸住宅」となっています。

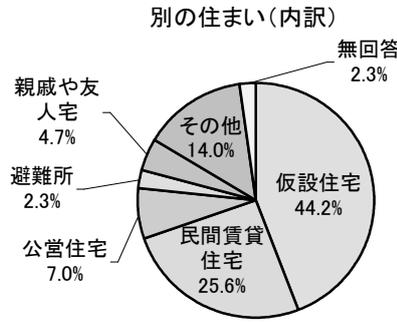
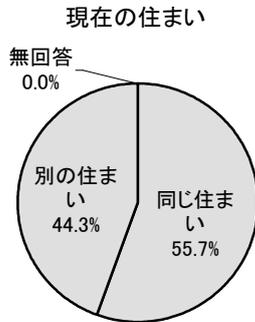
エ:現在の住まい

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	54	55.7%
別の住まい	1,672	61.9%	43	44.3%
無回答	35	1.3%	0	0.0%
計	2,700	100.0%	97	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(高浜97人)を対象

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	19	44.2%
民間賃貸住宅	368	22.0%	11	25.6%
公営住宅	78	4.7%	3	7.0%
避難所	33	2.0%	1	2.3%
親戚や友人宅	177	10.6%	2	4.7%
その他	214	12.8%	6	14.0%
無回答	9	0.5%	1	2.3%
計	1,672	100.0%	43	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答
した1,672人(高浜43人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は、「漁業」、「販売・サービス業」が多く、職場については約30%が「高浜」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、約35%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	0	0.0%
漁業	371	11.6%	23	15.4%
製造業・建設業	447	14.0%	18	12.1%
販売・サービス業	618	19.3%	21	14.1%
公務員・団体職員	280	8.8%	13	8.7%
主婦(夫)	137	4.3%	8	5.4%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	53	35.6%
その他	263	8.2%	10	6.7%
無回答	70	2.2%	3	2.0%
計	3,200	100.0%	149	100.0%

カ:震災前の職場の場所

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	9	10.2%
愛宕・光岸地	51	2.5%	1	1.1%
鞆ヶ崎	144	6.9%	2	2.3%
藤原・磯鶏	177	8.5%	9	10.2%
高浜	34	1.6%	29	33.0%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	1	1.1%
津軽石	78	3.8%	4	4.5%
赤前	66	3.2%	3	3.4%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	0	0.0%
その他宮古市	141	6.8%	5	5.7%
県内	85	4.1%	2	2.3%
県外	43	2.1%	1	1.1%
無回答	486	23.4%	22	25.0%
計	2,078	100.0%	88	100.0%

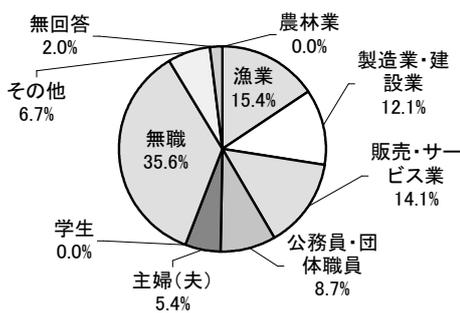
※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(高浜88人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

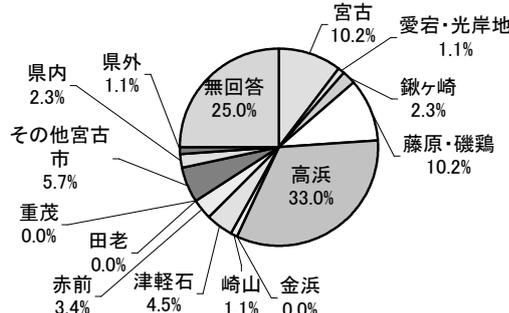
	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	14	15.9%
廃業	138	6.6%	5	5.7%
退職	99	4.8%	5	5.7%
失業	182	8.8%	6	6.8%
変化なし	895	43.1%	43	48.9%
その他	182	8.8%	7	8.0%
無回答	186	9.0%	8	9.1%
計	2,078	100.0%	88	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(高浜88人)を対象

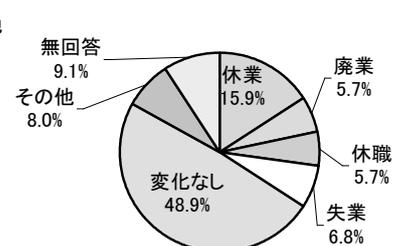
震災前の仕事



震災前の職場の場所



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

- 震災前の住まいは約80%が「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、回答者の40%以上となっています。
- 今後の住みたい場所については、「同じ場所」に住みたいと考えている方が最も多くなっています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、「既に補修」、「新築または購入」の順に多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」、「津波被害を受けたくない」が多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「同じ場所」で「既に補修」が最も多くなっています。(4ページ)

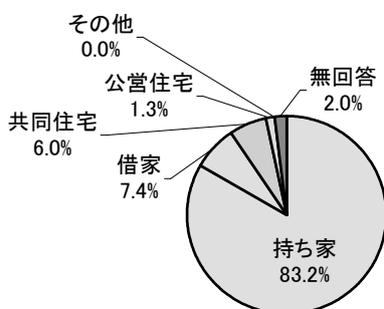
ウ:震災前の住まいの種類

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	124	83.2%
借家	225	7.0%	11	7.4%
共同住宅	218	6.8%	9	6.0%
公営住宅	26	0.8%	2	1.3%
その他	41	1.3%	0	0.0%
無回答	51	1.6%	3	2.0%
計	3,200	100.0%	149	100.0%

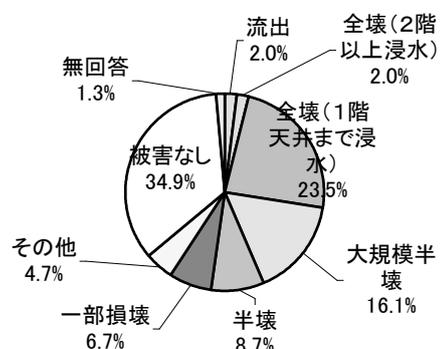
エ:住まいの被害

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	3	2.0%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	3	2.0%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	35	23.5%
大規模半壊	408	12.8%	24	16.1%
半壊	305	9.5%	13	8.7%
一部損壊	147	4.6%	10	6.7%
その他	83	2.6%	7	4.7%
被害なし	500	15.6%	52	34.9%
無回答	73	2.3%	2	1.3%
計	3,200	100.0%	149	100.0%

震災前の住まいの種類



住まいの被害



ア-1:住みたい場所

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	45	46.4%
近くの高台など	753	27.9%	19	19.6%
市内	639	23.7%	20	20.6%
市外	99	3.7%	5	5.2%
その他	72	2.7%	3	3.1%
無回答	147	5.4%	5	5.2%
計	2,700	100.0%	97	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(高浜97人)を対象

ア-2:考えている住まい

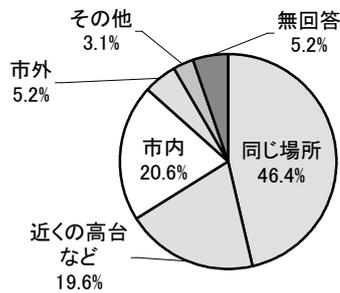
	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	28	28.9%
補修予定	269	10.0%	15	15.5%
新築	811	30.0%	19	19.6%
民間賃貸	89	3.3%	3	3.1%
公営住宅	176	6.5%	2	2.1%
未定	486	18.0%	16	16.5%
その他	82	3.0%	4	4.1%
無回答	299	11.1%	10	10.3%
計	2,700	100.0%	97	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(高浜97人)を対象

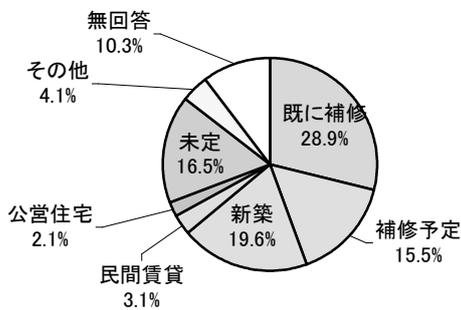
イ:理由(複数回答)

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	55	56.7%
仕事場が近い	442	16.4%	14	14.4%
生活に便利	871	32.3%	19	19.6%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	37	38.1%
近所づきあい	640	23.7%	23	23.7%
子どもの教育環境	229	8.5%	8	8.2%
早く住宅確保	812	30.1%	27	27.8%
費用がかかる	797	29.5%	33	34.0%
その他	121	4.5%	3	3.1%
無回答	143	5.3%	7	7.2%
計	6,533		226	

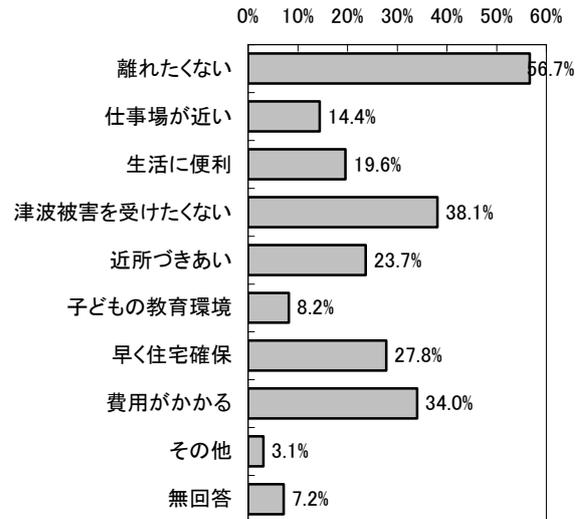
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

5. 高浜 住みたい場所	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
同じ場所	24 24.7%	10 10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6 6.2%	0.0%	5 5.2%	45 46.4%
近くの高台など	2 2.1%	5 5.2%	8 8.2%	0.0%	0.0%	2 2.1%	1 1.0%	1 1.0%	19 19.6%
市内	0.0%	0.0%	11 11.3%	1 1.0%	2 2.1%	6 6.2%	0.0%	0.0%	20 20.6%
市外	0.0%	0.0%	0.0%	2 2.1%	0.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	5 5.2%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 1.0%	2 2.1%	0.0%	3 3.1%
無回答	2 2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3 3.1%	5 5.2%
計	28 28.9%	15 15.5%	19 19.6%	3 3.1%	2 2.1%	16 16.5%	4 4.1%	10 10.3%	97 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震や二次災害が不安」が約60%と最も多く、次いで「震災前の収入をえられるかなど生活の自立」となっています。
- 今後の備えとしては、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」、「非常時持出袋等の準備」が多くなっています。

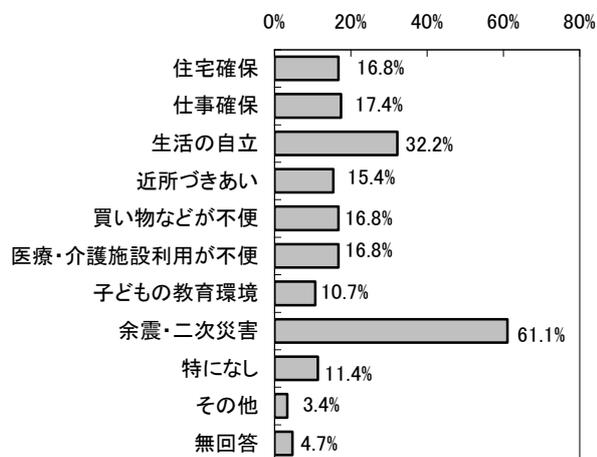
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	25	16.8%
仕事確保	551	17.2%	26	17.4%
生活の自立	947	29.6%	48	32.2%
近所づきあい	526	16.4%	23	15.4%
買い物などが不便	806	25.2%	25	16.8%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	25	16.8%
子どもの教育環境	310	9.7%	16	10.7%
余震・二次災害	1,705	53.3%	91	61.1%
特になし	154	4.8%	17	11.4%
その他	104	3.3%	5	3.4%
無回答	173	5.4%	7	4.7%
計	7,301		308	

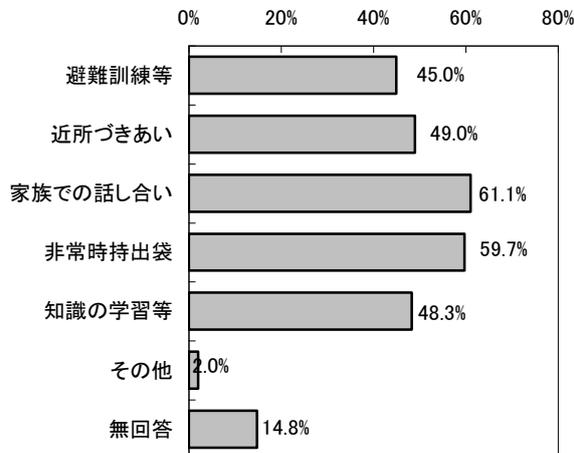
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	67	45.0%
近所づきあい	1,406	43.9%	73	49.0%
家族での話し合い	2,043	63.8%	91	61.1%
非常時持出袋	1,970	61.6%	89	59.7%
知識の学習等	1,502	46.9%	72	48.3%
その他	128	4.0%	3	2.0%
無回答	333	10.4%	22	14.8%
計	8,680		417	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択しが人が最も多く、次いで「住宅再建への支援」と「雇用の場の確保」が多くなっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」が高い割合となり、「農林業の振興」、「(海洋産業や環境・自然エネルギー等の) 新たな産業創出」なども多くなっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」と「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	62	41.6%
住宅再建支援	1,717	53.7%	58	38.9%
健康の維持	443	13.8%	18	12.1%
医療体制の確保	1,067	33.3%	42	28.2%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	12	8.1%
学校教育環境の整備	370	11.6%	21	14.1%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	11	7.4%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	58	38.9%
地域コミュニティ	421	13.2%	22	14.8%
無回答	433	13.5%	33	22.1%
計	7,672		337	

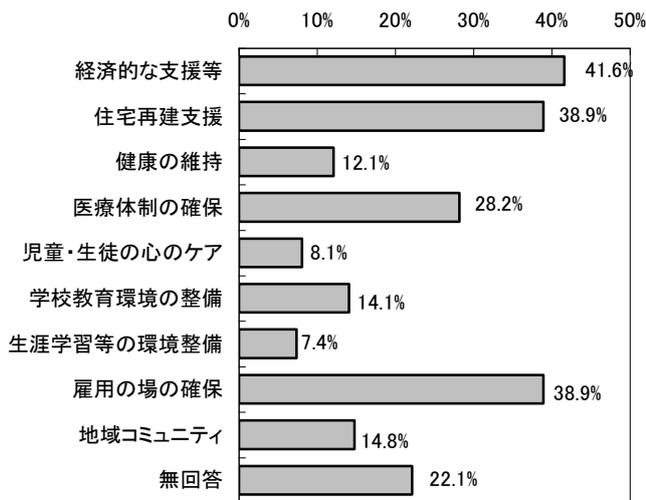
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	41	27.5%
漁業振興	1,522	47.6%	72	48.3%
製造業振興	815	25.5%	38	25.5%
商業・サービス業振興	881	27.5%	30	20.1%
観光振興	467	14.6%	22	14.8%
港湾振興	489	15.3%	26	17.4%
産業創出	689	21.5%	41	27.5%
事業創出	438	13.7%	26	17.4%
無回答	746	23.3%	35	23.5%
計	7,014		331	

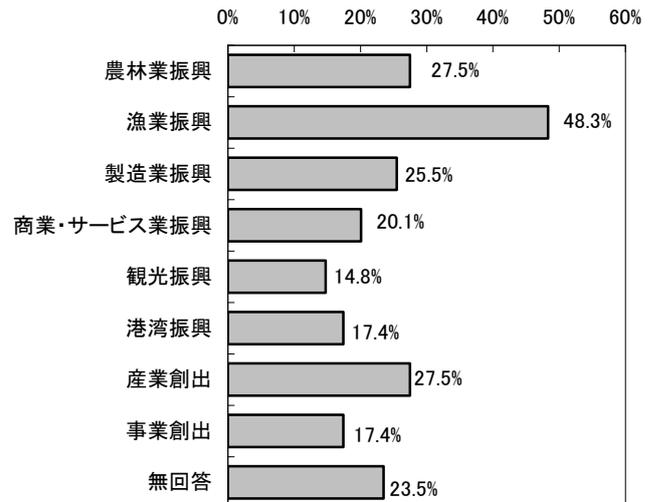
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		高浜	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	90	60.4%
交通網整備	1,717	53.7%	85	57.0%
土木施設復旧	1,361	42.5%	50	33.6%
地域防災力	444	13.9%	18	12.1%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	37	24.8%
災害記憶継承	277	8.7%	9	6.0%
自然エネルギー	545	17.0%	34	22.8%
無回答	515	16.1%	23	15.4%
計	7,569		346	

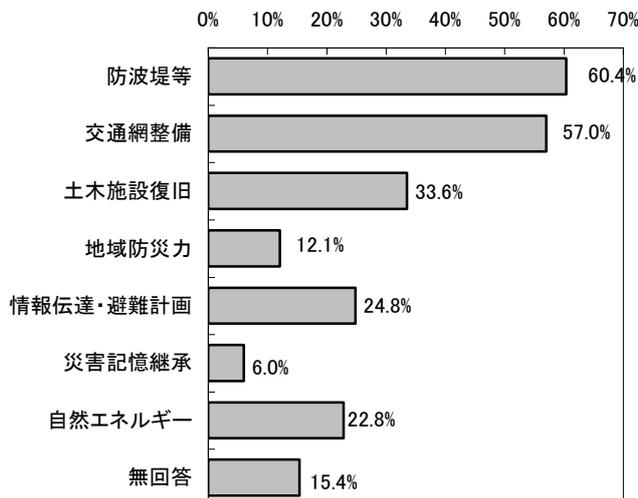
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ すまいと暮らしの再建に関して、「住宅を建てるための土地や資金確保への不安」、「高台への住宅地の確保」、「津波に強い集合住宅の整備」、「自立に向けた雇用の確保」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「観光の振興」、「中小企業への支援」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「防潮堤の整備」、「安全は避難場所、避難路の確保」、「防災無線の整備や災害時の国道の通行規制」などについての意見があります。
- ・ その他として、「支援物資や義援金の配布に関する不満」や「人材流出への不安」などについての意見があります。

すまいと暮らしの再建について	
1	被災した家を修理してまた住みたいので、早く具体的な施策を発表してほしい。
	住宅を確保できるか不安。宅地を見つけ、資金を借りられるか。都市計画はどうなるのか。
2	住宅の代替地はできるだけ今の場所から近いところ、小高いところが望ましい。
3	新しい住宅が解体されるのがもったいない。
4	平地が少なく住宅を建てる土地が狭いため、高層型のアパートなどの集合住宅にしなくては津波から逃れられない。
5	高齢者は今から家を建てられないので、公営住宅等の建設をお願いしたい。
6	新たな住宅建設用地は漁業従事者や、小学校及び中学校の通学を考えることが必要。
7	自立に向けての支援が必要。そのためにも雇用の場の確保が必要。
産業・経済復興について	
1	復興に向けて観光PRに力を入れたり、若者が安心して仕事できる雇用の場をたくさん作って、津波に負けない元気な宮古を取り戻したい。
2	宮古市の特性である、港湾を活用した産業の創出が必要。
3	中小企業にも、機械、施設、新設への支援が必要
安全な地域づくりについて	
1	子供が防潮堤のない場所を通学しているため、修繕、整備を早くしてほしい。
2	津波に対しては、防潮堤を高くするよりも避難路を整備して老人、子供でも逃げやすいようにすることが必要。
3	高浜から山を越えて避難できるようにしてほしい。国道が壊れると高浜は孤立してしまう。
4	国道45号は海沿いにあるので危険。早急に三陸道の全線開通が必要。
5	高台にコミュニティセンター(避難所)を設置してほしい。
6	津波の際の避難専用、あるいは商業ビルに兼用させた避難ビルを建てて、避難場所を確保してほしい。
7	高台に移転するために、高浜地区でも宅地造成を進めてほしい
8	宮古市は高台が少ないので、宮古市に合うような都市づくりをしてほしい。
9	大震災の際、国道45号を交通を止めにしたほうがよかったのではないか。
10	防災連絡用の放送が聞こえない。3. 11より前から壊れている。
その他	
1	救援物資の配布は避難所に居た人が優先で、自宅避難した人は回ってこなかった。
2	復旧に時間がかかれば大切な人材は外に流出してしまう。
3	義援金は、全壊や半壊したところしか出ないが、床下浸水したところも被害が出ているので支援してほしい。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, enclosed by a double-line border. The interior is filled with horizontal dashed lines, providing a template for writing a memo.